

問1	ある地形図の特定の区間において、水平距離400メートルの間に標高が200メートル付近から約50メートル付近まで緩やかに下降している地形を、垂直な断面として表す場合、その特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。（2023年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 標高が一定の平地が続いているため、断面図の曲線が水平な直線になっている。	2. 標高が急激に変化しているため、等高線が非常に密に重なっている区間の様子を示している。	3. 途中で山頂を含んでいるため、断面図の曲線が一度大きく上昇してから下降している。	4. 標高の変化が緩やかであるため、等高線の間隔が広がっている区間の様子を示している。
問2	「2万5千分の1」の縮尺で描かれた地形図において、図上の1cmは実際の250mに相当します。ある駅から新しく建設された図書館までの図上の距離が3cmであった場合、その実際の距離はどれくらいですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 75m	2. 7500m	3. 250m	4. 750m
問3	メルカトル図法を用いて描かれた世界地図の特性について、実際の距離や面積の関係を説明した文として正しいものはどれですか。（2024年 山形県公立入試 類似）			
	1. 北半球は拡大されるが、南半球は縮小して表現される	2. 低緯度から高緯度に向かうにつれて、実際の距離や面積が拡大して表現される	3. 緯度に関わらず、地図上の距離と実際の距離の関係は一定である	4. 赤道に近いほど、実際の距離や面積が拡大して表現される
問4	経線と緯線が直角に交わる世界地図（メルカトル図法）において、グリーンランドがオーストラリア大陸よりも大きく描かれるなど、高緯度地域の面積が実際よりも大きく表されるのはなぜですか。（2019年 北海道公立入試 類似）			
	1. 赤道付近の地形を詳細に描くために、低緯度地域を縮小しているから	2. 中心からの距離と方位を正しく表すために、周辺部を拡大しているから	3. 緯線と経線を直角に交わらせるために、高緯度ほど図を引き伸ばしているから	4. 地球の裏側の様子を平面上に表現するために、全体を歪めているから
問5	2万5千分の1の地形図を利用して、地域の防災計画を検討する場面を想定します。地図上において、ある地点から「高等学校」の地図記号が記された場所までの距離を測ると5cmでした。このときの実際の直線距離と、この地形図における1cm四方（1平方センチメートル）の区画が示している実際の面積の組み合わせとして正しいものはどれか。（2016年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 実際の距離は2.5kmであり、1cm四方の面積は実寸で250,000平方メートルである	2. 実際の距離は1.25kmであり、1cm四方の面積は実寸で62,500平方メートルである	3. 実際の距離は1.0kmであり、1cm四方の面積は実寸で10,000平方メートルである	4. 実際の距離は1.25kmであり、1cm四方の面積は実寸で25,000平方メートルである
問6	北欧のノルウェーやスウェーデンなどの高緯度地域において、夏季に太陽が地平線の下に沈まない、あるいは沈んでも一晩中明るい状態が続く現象を何といいますか。（2024年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 極夜	2. エルニーニョ現象	3. 白夜	4. 偏西風
問7	日本標準時子午線が通る兵庫県明石市（東経135度）と、西経120度の経線が通るアメリカ合衆国のロサンゼルスとの間の時差は何時間か。また、日本が2月9日の午前9時であるとき、ロサンゼルの日時はいつになるか。その組み合わせとして正しいものを選択してください。（2016年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 時差は17時間で、ロサンゼルスは2月9日の午後4時である	2. 時差は1時間で、ロサンゼルスは2月9日の午前10時である	3. 時差は17時間で、ロサンゼルスは2月8日の午後4時である	4. 時差は15時間で、ロサンゼルスは2月8日の午後6時である
問8	地球儀や地図上で、北緯26度、東経127度に位置する那覇の正反対にあたる場所（対蹠点）を確認すると、そこは南緯20度から30度、西経50度から60度の範囲に含まれる海域であることがわかります。この地点が位置する海洋名として正しいものはどれですか。（2017年 京都府公立入試 類似）			
	1. インド洋	2. 南大西洋	3. 北極海	4. 南太平洋
問9	環太平洋造山帯に属する地域や、その地形的な特徴について正しく述べているものはどれですか。（2018年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 北米のアパラチア山脈のように、起伏がなだらかで安定した地形が続いている	2. ヒマラヤ山脈を含み、インドネシアから地中海方面へと東西に伸びている	3. オーストラリア大陸の大部分のように、大規模な地震がほとんど起こらない	4. アンデス山脈やロッキー山脈、日本列島を含み、険しい山岳地帯が多い
問10	1/25,000の地形図において、標高約150mの山腹にある地点Xから、中央を流れる阿武川を横切り、標高約200mの山頂付近を経由して、標高約50mの平地にある地点Yまで移動したとします。この区間の地形の起伏を断面図として表現したときの説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 地点Xから標高が上がり続け、200mの山頂に達した後に川を渡り、そのまま地点Yの平地へと至る直線を描く。	2. 地点Xから地点Yまで、等高線の間隔が常に一定であるため、起伏のない一定の傾斜で標高が下がり続ける。	3. 地点Xから一度標高が下がって川を渡り、その後200m付近まで標高が上がってから、地点Yに向かって標高が下がる曲線を描く。	4. 地点Xから川を渡るまで標高は一定で、川を越えた直後に急激に200mまで上昇し、地点Yまでその標高を維持する。
問11	観光に関する統計資料において、観光客の「満足度」を地域ごとに分析する目的や背景として最も適切な説明はどれですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 特定の国の満足度を意図的に高く公表することで、その国からの観光客だけを優遇する制度を作るため。	2. 観光客数が多い地域ほど満足度が高いという世界共通の法則を証明し、宣伝費を一点に集中させるため。	3. 出発地域ごとのニーズや傾向を把握し、それぞれの地域に適した観光プロモーションやサービスの改善につなげるため。	4. 満足度の低い地域の観光客を制限し、満足度の高い地域の観光客のみを受け入れる排他的な政策を推進するため。
問12	世界三大洋の一つで、東側にはヨーロッパ大陸とアフリカ大陸、西側には南北アメリカ大陸があり、それらの大陸の間に位置する海洋はどれか。（2016年 北海道公立入試 類似）			
	1. インド洋	2. 太平洋	3. 北極海	4. 大西洋
問13	メルカトル図法で描かれた世界地図の最下部に位置する南極大陸は、実際の大陸の姿と比較してどのように表現されているか、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 南北の長さのみが極端に引き伸ばされ、細長く描かれている	2. 実際よりも極端に小さく、一点に集まるように描かれている	3. 赤道付近の大陸と同じ面積比率で、正しく描かれている	4. 実際よりも極端に大きく、東西に長く引き伸ばされている

答え合わせ・解説

問1	答え 4 標高の変化が緩やかであるため、等高線の間隔が広がっている区間の様子を示している。	地形図において、等高線の間隔が広いことは傾斜が緩やかであることを意味し、等高線の間隔が狭いことは傾斜が急であることを意味します。今回のケースでは標高200メートルから50メートルまで「緩やかに下降」しているため、断面図上ではなだらかな右下がりの曲線となり、地形図上では等高線の間隔が広い場所に対応します。
問2	答え 4 750m	2万5千分の1地形図では、実際の距離を25,000分の1に縮小しています。図上の1cmは実寸で25,000cm（＝250m）となるため、図上で3cmの長さは、250mを3倍した750mとして計算されます。単位をcmからmへ変換する際には、100cm＝1mであることを利用します。
問3	答え 2 低緯度から高緯度に向かうにつれて、実際の距離や面積が拡大して表現される	メルカトル図法では、赤道から離れて緯度が高くなるほど、地図上の表現が実際の距離よりも大きく歪む性質があります。これは、地球という球体を円筒に投影する際に、高緯度地方の経線の幅を広げ、それに合わせて緯線の間隔も調整しているためです。この結果、北極や南極に近い地域ほど、実際よりも面積が非常に大きく描かれます。
問4	答え 3 緯線と経線を直角に交わらせるために、高緯度ほど図を引き伸ばしているから	地球上で経線は北極・南極という一点に集まりますが、メルカトル図法では経線を平行な直線として描きます。そのため、高緯度地域では本来狭いはずの経線の間隔を無理やり広げて（引き伸ばして）赤道と同じ幅にしています。縦方向（緯線間隔）も同様に引き伸ばして角度の整合性を保っているため、結果として高緯度ほど面積が著しく拡大して描かれます。
問5	答え 2 実際の距離は1.25kmであり、1cm四方の面積は実寸で62,500平方メートルである	2万5千分の1の縮尺では、地図上の1cmは実際の25,000cmに相当します。25,000cmをメートルに直すと250mになるため、地図上の5cmは「250m × 5 ＝ 1,250m」、つまり1.25kmとなります。面積については、地図上の1cm四方は実際には「250m × 250m」の正方形の範囲を指すことになるため、計算すると62,500平方メートルになります。縮尺の分母の数値をそのまま面積（25,000平方メートル）としたり、1kmを4cm（5万分の1地形図の基準）と混同したりしないよう注意が必要です。
問6	答え 3 白夜	地球の地軸が公転面に対して傾いているため、高緯度地域では夏季に太陽が沈まない期間が生じます。この現象を「白夜」と呼び、観光資源としても知られています。これに対し、冬季に太陽が昇らない現象は「極夜」と呼ばれます。
問7	答え 3 時差は17時間で、ロサンゼルスは2月8日の午後4時である	地球は360度を24時間で自転するため、経度15度につき1時間の時差が生じます。日本（東経135度）とロサンゼルス（西経120度）のように東経と西経にまたがる場合は、それぞれの度数を足した数値（135＋120＝255度）を15で割ることで、時差が17時間であると求められます。日本は世界の中でも日付が早く進むため、ロサンゼルスは日本より17時間遅れていることとなります。日本が2月9日午前9時のとき、そこから17時間を差し引くと、前日の2月8日午後4時となります。
問8	答え 2 南大西洋	那覇の対蹠点は南緯26度、西経53度付近に位置します。この経緯度は南アメリカ大陸の東側に広がる海域に該当するため、名称は南大西洋となります。対蹠点の考え方をを用いると、日本列島のほとんどの地域の反対側は、南米付近の南大西洋上になることが地理的な特徴として挙げられます。
問9	答え 4 アンデス山脈やロッキー山脈、日本列島を含み、険しい山岳地帯が多い	環太平洋造山帯は、南米のアンデス山脈から北米のロッキー山脈、アリューシャン列島、日本列島を経てニュージーランドに至るまで、太平洋を縁取るように分布しています。形成された年代が新しいため、急峻で険しい山脈が多いことが特徴です。ヒマラヤ山脈はアルプス・ヒマラヤ造山帯に属します。
問10	答え 3 地点Xから一度標高が下がって川を渡り、その後200m付近まで標高が上がってから、地点Yに向かって標高が下がる曲線を描く。	地形図において、川が流れている場所は周囲の地形よりも標高が低くなっています。そのため、地点Xから川に向かう際は標高が下がり、断面図では一度沈み込む形になります。その後、山頂に向かうにつれて等高線の数値は大きくなるため標高が上がリ、標高200mのピークを迎えます。地点Yは標高50mの平地であるため、山頂からは再び標高が下がる動きを読み取ることができます。
問11	答え 3 出発地域ごとのニーズや傾向を把握し、それぞれの地域に適した観光プロモーションやサービスの改善につなげるため。	観光統計において満足度を調査する主な目的は、現状の課題を把握し、将来的な観光戦略に活かすことにあります。出発地域によって満足度に差が出るという事実は、文化的な背景や現地での過ごし方の違いを反映しており、それらを分析することで、より質の高い観光立国の実現や、リピーターの確保に向けた具体的な施策を検討する材料となります。
問12	答え 4 大西洋	ヨーロッパ大陸やアフリカ大陸の西側、南北アメリカ大陸の東側に広がる海洋であるため、大西洋が該当する。面積は太平洋に次いで世界で2番目に広い。
問13	答え 4 実際よりも極端に大きく、東西に長く引き伸ばされている	地球の表面を円筒状に投影するメルカトル図法では、高緯度ほど横方向（経線間）の広がりが大きくなります。南極大陸は極地に近い高緯度に位置するため、この図法では地図の底辺全体に広がるような、実際とは大きく異なる巨大な陸地として表現されます。